

西部センターだより

2号

R1・9・26

「天高く馬肥ゆる秋」とはよく言ったもので、この時季の青空は際限なく感じます。夕暮れの一步手前の時間帯、光と風の加減があるのか、一筋に伸びる飛行機雲がきれいで、見ていて飽きません。初任の教員として出雲に住んでいた頃、幾筋もの飛行機雲が交差し、伸びては消えていく様を見上げながら、失敗続きの一日を振り返ったこともありました。

「失敗から学ぶ成功のヒント」として、『月刊公民館』の2019年9月号に特集が組まれていました。全国の公民館等の職員から寄せられた、失敗の経験とそこから学んだことの18編のエピソードが掲載され、その内7編が島根県の方の寄稿でした。始めのうちは、「島根の公民館職員さん、頑張っているなあ」くらいの気持ちだったのですが、ページをめくるごとに島根県の方のエピソードが登場し、失敗を糧に次の事業をより良くしようとする姿勢、全国誌に積極的に寄稿していく前向きな姿に感じ入りました。

9月に、当センターが主催する「ファシリテーター養成講座」が終わりました。この講座は、3回シリーズとして構成しており、7月に1回目スタートし、参加型の学び合い・話し合いの場のプログラム作りとファシリテーションの実施体験に取り組んできました。参加募集を案内したところ、定員を大きく上回る受講希望が寄せられ、地域での参加型への関心の高さを感じています。8名の受講生の皆さんは、いきなり行った体験、プログラム作りが思うように進まないもどかしさ、人前でのファシリテーションの緊張感などを克服して、プログラム実施を修了されました。3回の実施研修の開催にあたっては、地域住民役として多くの方にも参加いただき、ありがたく思っています。

「一期一会」という言葉があるように、その一時ひとときを大切にしよう、その時はかけがえがない、出会いはその時一度きり、などの思いから、「失敗して

はいけない」という感覚が生まれてくることは当然です。また、「忙しい時間を割いて集まってくれるので、時間内に物事を進めなければ」という思いも湧いてきます。

「ファシリテーターの役割は、話し合いの行方を『コントロールする』のではなく、参加者が安心して考え、同等に発言でき、話題がそれないように場を『ホールドする』ことである。*1」とも言われます。また、話し合いの様子は、「儀礼的会話・議論を経て、探究的対話から生成的対話が生まれる*2」と言われます。感覚的に言えば、挨拶や主張の場を経て、胸襟を開いて「腹を割って話す」ことを通して、「三人寄れば文殊の知恵」が生まれるということでしょうか。

参加型の場が、計画どおり進行されることも大切ですが、時には早く終わったり、焦らずに「次また集まろうか」と時間をかけたりもして、『対話を通して皆が納得できる『共通の答』が生まれることが大切だと考えています。「地域課題は、住民の関心ごとの最大公約数である*3」との考えも方も、「なるほど」と思わせます。思い通りにいかない。いくら流れの分岐を想定しても想定外の展開が起こりうる。場をホールドするだけなので、結論がどうなるか正直分からない。など、ファシリテーターからすれば、結論についての『失敗』がそもそも無いのが、参加型の話し合い・学び合いなのだと思います。

この春、「地域魅力化プログラム」を各方面にお配りしました。焦らず、時間に追われず、気構えをせず、「楽しんで」の時間を十分味わって、「動きにつながる学びの場」が広がっていくことを願っています。

島根県立西部社会教育研修センター

所長 舟木 志郎

*1、*2 『OST 実践ガイド』(2018 英治出版) より

*3 『社会教育』(2019,7月号) p54

これまでの研修の様子

公民館等職員研修

①5/22 ②6/5 ③6/28
④9/13 ⑤10/18

P D C A サイクルで見つめ直す公民館事業の実際

～既存事業のふり返りから、よりよい地域づくりをめざして！～

第1回：事業のふり返りから考える未来

第2回：実践から事業を見つめ直す

(実践発表)

あゆといっしょに プカプカ流れよう

～心に残る豊かな親子活動～

益田市豊田公民館・主事 **廣田 きよ 氏**

第3回：住民の学びにつながる事業の全体構想

6月-9月：見直した事業の実施

第4回：事業のセールスポイントと取組の成果を伝える
プレゼンテーション

第5回：事業実施の先にある新たな“P”へ！

(合同発表会)



事業名

納涼の夕べ
～キャンドル
ナイト灯の祭典～

ホーラン
エーに
触れる

中野地区
地域学校
「竹細工で
遊ぼう」

第2回
益田地区
ドッジボー
ル大会

矢上高
チャレンジ
体験

公民館等職員研修



地域魅力化プログラム体験講座 5/30

地域課題解決に向けた参加型学習を体験的に学ぶ!!

【説明①】「地域魅力化プログラム」とは

【体験】 地域魅力化プログラム3-④-⑥
「こんな町 めざそう!どんなこと できそう?」

【説明②】「地域魅力化プログラムの意義と活用」

【演習】「グループワーク『地域魅力化プログラム』
の活用について考える」



感想

- ・地域づくりの意識づけには有効
- ・もっとシンプルにした方が使いやすい
- ・プログラムに沿って進行しているので、頭の中でぼんやり・・・の計画より流れをもって活動できると思う

これまでの地域から学校への「支援」ではなく、これからは地域と学校が目標を共有して行う双方向の「連携・協働」型の活動の充実へ

ニーズを捉え直し、シーズ(潜在化していること)として掘り起こしたり、種をまいたりすることも大切!

「個別の活動」から「総合化・ネットワーク化」へ



コーディネーター研修

会場：浜田合同庁舎

6/13

【はじめに】

～結集!しまねの子育て協働プロジェクト事業の視点から～

【講義】「これからの連携・協働へ向けて」

下関市立大学 准教授 **天野おかり 氏**

- ・マッチングとコーディネーション
- ・地域学校協働活動の定義
- ・学校支援協働活動の定義
- ・学校支援地域本部から地域学校協働本部へ
- ・コーディネーターに求められる力

【演習】「ともに学ぼう!明日から生かせるコーディネート」

感想

- ・協力と協働、マッチングとコーディネーション、学校支援と地域学校協働本部、それぞれの違いについてわかった。
- ・自分がしているコーディネートが学校支援そのものだったと気づかされた。
- ・様々な思いや情報を聞くことで、参加前より充実した気持ちで終わることができた。



ファシリテーター養成講座



—企画・設計できるファシリテーターをめざして—

- 第1回：ファシリテート体験を通して、ファシリテーターの役割を知る
- 第2回：地域でのファシリテートを思い描く！
「学習プログラムのデザイン」
- 第3回：参加者が互いに引き出し・学び合う ファシリテート実践

【概要】地域づくりに主体的に参画する人づくりに向けて参加型学習を活用した学びの場、話し合いの場を企画・進行する力を高める場とします。

テーマ

- ♪ 講座をつくろう！ (ラベルワーク)
- ♪ 津波が来るぞ！避難所へ (第2回) (ラベルワーク)
- ♪ 左鏡小学校 第二幕 (ランキング)
- ♪ サクラマス7か条ってなんですか？ (ランキング)
- ♪ 『ふつうのしあわせ、助けられ上手』ってなに？ (ラベルワーク)
- ♪ 地域学校の未来について考えよう！ (ラベルワーク)
- ♪ 誰もが安心して過ごせる避難所にするために (ラベルワーク)
- ♪ 知ろう！西部の素敵な取り組み！ (ワールド・カフェ風)



7/26浜田会場

会場：江津市総合市民センター

【講義】社会教育の役割と県社会教育行政の方針と事業
浜田教育事務所 社会教育スタッフ企画幹

久佐 日佐志 氏

【事例発表】「新・ふれあい祭り展示会」
浜田市立石見公民館・主事

虫谷 昭則 氏

しまねの社会教育基礎講座

7/31益田会場

会場：津和野町立池河公民館

【講義】社会教育の役割と県社会教育行政の方針と事業
益田教育事務所 社会教育スタッフ企画幹

田中 茂秋 氏

【事例発表】「つわのKinds Circle
～新たな風を巻き起こすために～」

津和野町立畑迫公民館・主事

笹木 康平 氏

【演習】地域課題を見出し 地域が元気になるためにできることを考えよう

【演習】地域課題を見出し 地域が元気になるために できることを考えよう

感想

- ・社会教育とは何か、大変参考になる講義でした。
- ・事例発表は大変参考になりました。
- ・公民館のもつコーディネート力が地域住民に寄り添う大切なものだと実感しました。
- ・違う地域の方と話ができて大変よかったです。

感想

- ・わかりやすい講義と参考になる事例発表でした。
- ・自分にできそうなことが新たに見つかったので、楽しい研修でした。
- ・社会教育を推進していくにあたって「やってみよう」とする精神や仲間づくりが必要だと感じた。

図書紹介

社会教育

企画：全日本社会教育連合会
発行：一般財団法人日本青年館

月刊 公民館

全国公民館連合会

月刊 Human Rights

一般社団法人
部落解放・人権研究所

バックナンバーあります！
詳しくはセンターまで

お知らせ

これからの研修予定です。皆様のご参加をお待ちしています！

社会教育委員研修

—学び・話し・伝える—

[期日] 令和元年 **10月3日** (木) 10:00~15:50

[会場] **あすてらす3F** (大田市)

[講義] **行動する社会教育委員をめざして**

講師：**神部 純一**氏 (滋賀大学 教授)

[概要] 社会教育委員の役割を確認し、求められる力を学び、具体的な動きや社会教育行政との連携のあり方について考えます



第5回公民館等職員研修

P D C A サイクルで見つめ直す公民館事業の実際

[期日] 令和元年 **10月18日** (金) 10:00~16:00

[会場] **島根県立少年自然の家** (江津市)

[概要] 東西合同発表会！ (全5回シリーズの5回目)

事業実施の先にある新たな“P”へ！

【実践発表】 実践した公民館事業のプレゼンテーションと協議

【ふりかえりとわかちあい】 実践発表のふり返しと公民館等職員としての将来の展望についてのワーク



しまねの社会教育フォーラム2019

県内各分野で地域人材を育成している実践や、広く人をつなげている関係者の話や思いから参加者自身の活動を振り返り、さらなる当時者意識と実践意欲を高める場とします。

[日時] 令和元年 **11月23日** (土) 9:30~16:00

[会場] **島根県立青少年の家サン・レイク** (出雲市)

[オープニングトーク・講話・全体総括]

【テーマ】しまねの「地域づくりを担う人づくり」を進めるために大切にしたいこと
～「学びと活動の好循環」の観点から～

講師：**志々田 まなみ**氏 (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官)

[実践発表]

①「わたしのまち」で生き生き暮らすために

江木 真由美氏 (浜田市立石見公民館・主事)

②「まち全体が学びの場」をめざして

石倉 美生氏 (津和野町教育委員会・教育魅力化コーディネーター)



西部センターだより 2019年度 2号

発行 島根県立西部社会教育研修センター

〒697-0016 浜田市野原町1826-1 (いわみーる3F)

TEL : (0855) 24-9344

FAX : (0855) 24-9345

Eメール : seibu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp

URL : https://www.pref.shimane.lg.jp/seibu_shakaikyoiku/